



畑作りワークショップ 東京 Y M C A 国際ホテル専門学校



2013年2月28日～3月3日の日程で、東京 Y M C A 国際ホテル専門学校学生・教務・教員合せて30名が石巻市でボランティアワークを行いました。ホテル専門学校学生のワークは今回が5回目であり、今回は東京バプテスト教会石巻ベースとの協同で、市内の被災した空き地を畑に作り変えるプロジェクトを行いました。

ワークを行った石巻市大街道南地区は、石巻湾沿いに位置し、大きな被害を被った地域の一つです。石巻と松島を結ぶ国道398号線南側が大街道南地区ですが、今回ワークを行った場所は海からわずか700メートルに位置し、住民の8割以上は家を離れ仮設住宅に移りました。それでも一部住民はこの地に愛着を持ち、持ち家を直して住んでいました。空き地が目立つこの殺風景な土地に、畑と公園を作り、住民の憩いの場と子どもたちの遊び場としたいという教会や住民の要望があり、今回大人数で畑作りに協力することになりました。

ワークはまず、空き地の瓦礫を丁寧に取り除くことから始まりました。子ども達が遊ぶ公園にするには、危険な瓦礫は一つ一つ丁寧に手作業で取り除かなくてはなりません。瓦礫といえ



現場に到着し、オリエンテーション。かつて人々が生活していた土地ということを忘れないように。



丁寧に一つ一つ瓦礫を拾っていきます。



畑も完成に近づいてきました。空き地が2日間でのこの通り。

ど、元々は人々の生活の一部です。土の中から衣服の一部やファミコンソフトを掘り当てると、学生たちはこの地で生活していた人々へ思いを馳せました。「どんな気持ちで震災を受け止めているのだろう」「今は何をしているのだろう」と。

瓦礫を取り除いた後は、土を掘り耕していきます。ここでも砂利や石を丁寧に取り除いていきます。2日間のワークを通して学生たちは自分たちで考えながら効率よく綺麗に土を耕す術を編み出していました。汗をかき、試行錯誤をしながらチームワークが育まれていきました。

結果的に2日間で、畑5～6列と、ため池を作り、また近隣住宅地周辺の夏から伸びっぱなしだった雑草を取ることができました。今回のボランティアワークの翌週には堆肥も届き、春に向けて畑がよいよ使われます。教会が行なっている英語教室の子どもたちや、近隣のお年寄りが一緒に作物を育て、収穫されたものは近隣の方々と一緒に調理して楽しむのだそうです。被災地に緑が戻り、人々がこの場所に一日も早く集うことができるよう、今後とも可能な支援を続けていきたいと思えます。

東日本大震災復興支援活動募金

- ・ゆうちょ銀行(郵便振替)
- 振替口座:00120-7-714728
- 名義:公益財団法人 東京 Y M C A 会員事務局
- ・銀行振り込み
- みずほ銀行 神田支店 普通 1677931
- 三井住友銀行神田支店 普通 7656469
- 名義:公益財団法人 東京 Y M C A
- ※「東日本大震災」とお書き添えください。